

## 第 21 回 学会大会報告

第21回日本レクリエーション学会大会は、平成3年11月9日（土）、10日（日）の両日にわたり、名古屋市栄区の朝日会館にて開催されました。大会テーマとして「人生80年時代のレジャー・レクリエーション」を掲げ、初日9日には「現代レジャー・レクリエーションの直面する課題」について議論したシンポジウム、そして翌10日には33題の研究発表と、積極的な参加者に支えられて全てのスケジュールを終了いたしました。シンポジウム、研究発表の演題および演者は以下のとおりです。

### ◎ 大会テーマ

「人生80年時代のレジャー・レクリエーション」

### ◎ シンポジウム

「現代レジャー・レクリエーションの直面する課題」

#### 1. 村おこし、町おこし

山崎 充 氏：静岡県立大学教授

#### 2. リゾート開発

辻 醇 氏：(株)名鉄総合企画取締役

下村 彰 男 氏：東京大学農学部助手

#### 3. 福祉・教育

大田 弘 子 氏：生命保険文化センター・研究員

## 研 究 発 表

= A 会 場 =

- A-1 「我が国古典文学に見る“余暇・生活文化”能力の評価」  
～『源氏物語』を中心に～  
○米村 恵子（財・余暇開発センター）
- A-2 「社会体育専攻学生の友人関係における話題と契機についての調査研究」  
～とくにその生きがい感とのかかわりから～  
○葛田 倫子（余暇問題研究所）
- A-3 「現代女子大生のスポーツ意識の動向」  
～大学間の比較～  
○松浦 三代子（東京女子体育大学）
- A-4 「女性の余暇活動に影響を及ぼす要因に関する研究（1）」  
～妻の余暇活動に対する夫婦の意識調査から～  
○野村 一路（日本体育大学）
- A-5 「女性の余暇活動に影響を及ぼす要因に関する研究（2）」  
～妻の余暇活動参加パターンの分析から～  
○三宅 基子（財・日本レクリエーション協会）
- A-6 「余暇行動の実態に関する日・韓比較研究」  
～経済的発展と内在・外在的要因との関わりから～  
○尹 光鉉（中京大学大学院）
- A-7 「レクリエーション運動の展開に関する一考察」  
～個に視点をあてたプログラムの試み～  
○宮下 桂治（順天堂大学）
- A-8 「レクリエーション運動の展開に関する一考察」  
～個に視点をあてた余暇情報提供システムの開発について～  
○戸田 安信（船橋市自遊人協会）
- A-9 「レクリエーション運動の展開に関する一考察」  
～市民の意識変化に対応した実践例から～  
○木村 博人（東京水産大学非常勤講師）
- A-10 「公共体育館の利用とその誘因に関する研究（Ⅰ）」  
～利用者の居住分布との関係～  
○田原 淳子（中京大学）
- A-11 「公共体育館の利用とその誘因に関する研究（Ⅱ）」  
～利用者の活動内容と施設満足度との関係～  
○佐藤 馨（中京大学大学院）
- A-12 「スポーツ施設のプログラム評価に関する研究」  
～特にプログラム・ライフサイクル分析について～  
○原田 尚幸（大阪体育大学特別研究生）

<第21回学会大会報告>

- A-13 「スポーツイベントへの評価に関する比較研究」  
～ホノルルマラソン vs 指宿菜の花マラソン～  
○野川 春夫（鹿屋体育大学）
- A-14 「トライアスロン参加者の満足要因の分析」  
○太田 繁（聖徳大学短期大学部）
- A-15 「日常的ライフスタイル因子とパケーション・ライフスタイル」  
○北村 尚浩（鹿屋体育大学大学院）
- A-16 「幼少年期のレジャー行動と青年期のチャンピオンスポーツ志向」  
○田辺 英夫（日本大学）

= B 会 場 =

- B-1 「商業スポーツクラブ指導者の職務満足に関する研究」  
～二要因理論を適用して～  
○岳藤 史泰（大阪YMCA社会体育専門学校）
- B-2 「レクリエーション上級指導者に関する研究（Ⅰ）」  
～指導者の活動実態について～  
○永松 昌樹（中京大学大学院）
- B-3 「レクリエーション上級指導者に関する研究（Ⅱ）」  
～指導及び資格に対する意識を中心に～  
○仲野 隆士（中京大学）
- B-4 「社会福祉分野における“レクリエーション指導”概念の変遷と展望」  
～主として高齢者福祉分野を中心として～  
○千葉 和夫（日本社会事業大学）
- B-5 「障害児キャンプ指導者のボランティア活動の継続に関する研究」  
～ボランティア活動に対する価値意識と役割意識について～  
○綿 祐二（東京都立大学）
- B-6 「重度障害者を対象としたかかわり方に関する一考察」  
～重症心身障害者の余暇生活支援を促進する～  
○茅野 宏明（武庫川女子大学）
- B-7 「ブラインドスキー参加者の意識」  
～アンケート調査の結果から～  
○渡辺 文治（神奈川県総合リハビリテーションセンター）
- B-8 「熟年者の余暇活動に関する研究」  
○藤本 淳也（大阪体育大学スポーツ産業特別講座）
- B-9 「高齢者のスポーツに関する調査研究」  
～グラウンド・ゴルフ愛好者を対象として～  
○佐橋 由美（樟蔭女子短期大学）

<第21回学会大会報告>

B-10 「高齢者のスポーツイベント参加における意識と行動」

○山口 泰雄（神戸大学）

B-11 「キャンプに対する高齢参加者の意識（2）」

～事前事後における不安の変化を中心として～

○中島 一郎（国際武道大学）

B-12 「キャンプと健康（第2報）」

～キャンプにおける高齢者の加速度脈波および血圧の変化～

○川村 協平（山梨大学教育学部）

B-13 「ダンス・パーティ中の心拍反応について」

○竹内 正雄（星薬科大学）

B-14 「レクリエーションダンスにおける attractive な動きの研究

～上肢について～

○井上 九美（樟蔭女子短期大学）

B-15 「環境教育の視点を持つ野外レクリエーションプログラムの開発に関する研究Ⅱ」

～環境教育のプログラム・ネイチャーゲームの分析～

○大島 順子（日本体育大学）

B-16 「都市近郊の歩く道“京都トレール”の思考と設定方法」

○塚本 圭一（大阪薫英女子短期大学）

B-17 「関東地方におけるゴルフコースの立地特性について」

○油井 正昭（千葉大学園芸学部）